

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 3 (2021) 年 12 月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15

一般社団法人 日本病院会 教育部教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <https://jha-e.jp/>

受付時間 10:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日 毎月 1 日

COVID-19 パンデミックの中で

末永 裕之

小牧市民病院 病院事業管理者
日本診療情報管理学会 理事長

新型コロナウイルスワクチンの 2 回接種率は 73% を超えて COVID-19 の第 5 波が落ち着いてきました
が、2 回接種の概ね 8 か月後からのブースター接種がいよいよ始まります。

ワクチン接種が進んで、感染者数は多くても入院患者、死亡者数が少なくなったとして、感染対策をい
ち早くほぼ全廃したイギリスでは新規感染者数が 1 日 4 万人前後の状況が続き、さすがに問題視する意見
も出ているようです。

日本では COVID-19 の第 5 波も一気に消退してきているとはいえ、寒くなって部屋の空気の入替え
が控えられ、密の状態を迎えがちな冬になると次の第 6 波も心配されます。ブースター接種を含めたワク
チンのさらなる普及とともに、今まで注意してきたマスク着用、手指消毒、3 蜜を避ける等には変わらず
心がけたいものです。

長期に及ぶパンデミックの中で、多くの方が「情報」の重要性に気付かされたことと存じます。新型コ
ロナウイルス感染症患者の情報の報告制度として、G-MIS、NESID、HER-SIS 等がありましたが、いず
れも正確なフィードバックに乏しく、情報収集における課題を露呈致しました。正確な情報から知識、知
恵を創出して対策を考えるという基本的なことが欠けていたように感じています。FAX を用いた紙ペー
スでの報告は入力、書き換え時のミスがたびたび報道され、先進国から周回遅れの ICT 環境も指摘され
たところですが、また、TV を見ない、新聞を読まない若い人たちへの重大な情報の伝達に関しても今後に
課題を残しました。

「情報」の共有は院内では当然必要ですが、当初は地域により差はあるものの、国・都道府県・市町
村、さらに保健所・病院・各種施設・診療所間の連携に役立つ情報が十分には共有されてはいなかったよ
うに感じています。

このようなコロナ禍のなかにあっても通信教育、診療情報管理学会の諸事業は Web 会議で行われ、新
しく開始しました生涯教育としての国際診療情報管理士教育はじめ種々講習会もオンデマンドで開催され
て多くの方に参加して頂いています。昨年の第 46 回診療情報管理学会学術大会はやむなく中止となりま
したが、今年の第 47 回学術大会はオンデマンドで開催され、多くの診療情報管理士の皆さん、学生さん
たちが Web で参加されましたことを嬉しく思っています。

診療情報管理士を目指している皆さんには診療情報管理士認定後には是非とも日本診療情報管理学会に
入会して、学術大会、講習会等にも参加して役に立つ知識を身に付けて頂きたいと存じます。

